

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2単位 保育の本質・目的	養護原理	亀井聡	1年次	秋

授業のキーワード	社会的養護 子どもの権利 自立支援 児童養護の原則
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	児童福祉において保育問題と家庭環境に恵まれない児童への支援が重要な問題になっている。養護原理は、家庭環境に恵まれない児童を児童養護施設をはじめとする社会的養護の施設の中で自立に向けての支援の原理や原則について事例・最新の資料に基づいて学習する。
履修のアドバイス・ 前提科目等	本科目は、施設実習の前提科目です。未修得の場合、2年次の春学期に施設実習は行うことができません。 保育士にとって養護原理に関する理解は重要です。学生の理解度に応じて講義を進めますので、シラバス通りに進まないこともあります。

### 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	子育て家庭の現状と児童養護		第9講	児童養護の原則	
第2講	児童養護の対象と領域1	健全育成と予防	第10講	児童養護の理論	ホスピタリズム・ノーマライゼーション
第3講	児童養護の対象と領域2	養護環境に問題のある子ども	第11講	児童養護の体系と運営	
第4講	児童養護の対象と領域3	障害のある子ども	第12講	児童養護の専門職	保育士・心理職・ファミリーソーシャルワーカー
第5講	児童養護の対象と領域4	情緒・行動面に問題のある子ども	第13講	児童養護の形態と働き方	
第6講	児童養護の対象と領域5	里親・自立援助ホーム	第14講	子どもの権利擁護1	
第7講	児童養護の歴史		第15講	子どもの権利擁護2	
第8講	児童養護の原理		評価方法		定期試験 70%、出席・レポート・授業中の態度等各 10%で評価します。
備考 (関連する資格・試験等)	教科書は、講義開始時に提示します。 講義は、15回を行うことを前提としています。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
			子どもの社会的養護―出会いと希望のかけはし― 望月彰編著 建帛社 ファミリーソーシャルワークと児童養護の未来―子ども家庭援助と児童福祉の展望 中央法規		

養護原理 保育・教育ネオシリーズ12 松原康雄編著  
同文書院